



岐阜支社
〒500-8875
岐阜市朝ヶ瀬通一丁目12番地
058(265)0191
Fax(262)8706
(販売)(265)0265
(広告)(266)4791
(事業)(265)0267

多治見支局
0572(22)3121
Fax(23)5331

大垣支局
0584(78)2030
Fax(74)6460

高山支局
0577(32)0350
Fax(34)5215

関支局
0575(22)3234
Fax(24)3939
ご意見は読者センターへ
052(221)0800
Fax(221)0819
Eメール
center@chunichi.co.jp
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

妻が2頭 東山動物園の「シャバーニ」

「イケメン」ゴリラ 「気い使ってます」

イケメンゴリラとして話題の東山動物園(名古屋市中)のシロランドゴリラ「シャバーニ」の群れの関係性を、関高校の三年生五人のグループが研究し、成果を日本霊長類学会の大会で発表した。専門家の好評価を得た内容を、六日に関市わかさプラザで市民向けに発表する。

(大野雄一郎)



研究は観察が指定するスローバ
「クロバールハイスクール」SG
H)の取り組の一環「シャバー
ニ」の研究は後藤宏文さん(もた
のグループが、担当教諭の提案に
八月、今年五月に計七回、同園を
訪問。長い時は四時間にわたって
ゴリラ舎の前に張り付き、互いの
距離や接触回数を調べた。

ゴリラ舎の中にいるのは五頭。
シャバーニ(雄、二十歳)のほ
か、配偶者のネネ(雌、推定四十
四歳)との間に生まれたキヨミ
サ(雄、四歳)、また、ネネと別
のメスの間にできたアイ(雌、
十二歳)、シャバーニとアイの間
に生まれたアニー(雌、三歳)も
一緒に暮らしている。

観察の結果、シャバーニは配偶
者二頭と接触の回数が多く、子ど
も二頭とは近くにいることが多い
と分かっていた。後藤さんは
「シャバーニは全ての個体に気を
配り見守っている」と分析する。
ネネとアイは「ドライな関係に
ある」と後藤さん。調査では二頭の
接触数は五時間で一度だけだ
った。シャバーニの配が平穏が保
たれているという点が生徒の見方
だ。キヨミサは、別の個体に近づく
割合がシャバーニに比べて、後
藤さんは「シャバーニをまねてリ
ーダーを目指している」と考える。
当初は好奇心だけで調べていた
五人だったが、予想以上に多くの
ことが分かってきたため、今年七
月に鹿児島県大であった日本霊長
学会大会に参加。研究者たちの前
で成果発表をした。視点が多角的
でないことやデータ量の少なさを
の批判もあったが、参加した霊長
類研究の第一人者の山極寿一京都
大学長からは「主目的ではあるが
着想は面白い」と好評も得た。

六日の発表会は午後一時半か
ら。グループの一人、宮尾結衣さ
ん(十八)は「ゴリラを観察して、生
物学の視点から人間の心理にも応用
できると思った」と新たな研究の
展開にも思いを巡らせている。

群れを研究 関高生あす発表

イケメンゴリラ “家族”に気配り

関市桜ヶ丘の関高校の生徒
が、東山動物園(名古屋市中)
のゴリラの群れを観察して得
た研究成果を、同市若草通の
わかさ・プラザで発表した。
ゴリラが群れの維持のため
気配りをするという内容
で、来場者も熱心に耳を傾け
た。

(田島孝人)

関高生が東山動物園で観察、成果発表



ゴリラの群れの観察成果を発表する関高校の生徒＝関市若草通、わかさ・プラザ

適度な接触で均衡保つ

同校は、県のスローバ
リ組んだ。5人は昨年8
月から今年5月までに7
に指定されており、ゴリ
ラ研究は3年生5人が取
組む「イケメンゴリラ」として知

「人間に近い動物と実感」

群れはシャバーニと
雌2頭、雄雌の子ども2
頭からなる。シャバーニ
が4頭と適度に接触する
ことで群れの均衡が保た
れているという結論に至
ったという。5人は7月
に鹿児島県大で開かれた日
本霊長類学会で成果を發
表。専門の研究者から厳
しい指摘とともに、今後
に向けたアドバイスも受
けた。5人は受験に備え
研究を「卒業」し、1、
2年生が引き継ぐ。

リーダーの後藤宏文さ
んは「ゴリラが想定して
いたより人間に近い動物
だと実感した。本職の研
究者も同様の研究をして
いて、似た結論になった
ので自信になった」と話
している。